

新田雲處 （いんげん） 漢學者。明治二十四年二月五日鳥取縣東伯郡中北條村生れ、昭和五十一年五月十七日歿（八九二—一九七〇）。講興、字士美、幼名美喜男。少時正墻道處の私塾研志堂に入り、十七歳にして塾師代講を務めた。二十五歳の折上京、父の縁故で木堂天養毅の門を叩き、爾來木堂在世中その指導を受けた。漢學振興に盡瘁、自らは三教（神儒佛）三學（和漢洋）の兼修を指標とした。國學院大學、國土館大學等の教授を歴任。

著書に『周易講義』、『精解漢和辭典』等の他、『雲處雜談』（昭和二十八年一月一日新田大作刊、不刊『歌道會』）、『雲處詩文』（昭和四十一年一月二十五日私家版）がある。